

● 出題の基本方針

日本史は、古代から近現代に至る幅広い時代・分野をバランスよく取り上げることが基本方針とした。各大問はリード文と下線部・空欄を組み合わせた形式で構成し、語句の選択・正誤の判別・地図問題など多様な出題形式を採用した。高校教科書の基本事項の理解を前提としつつ、単なる暗記にとどまらず、歴史的事象の因果関係や時代背景を読み解く力を問うことをねらいとした。

● 出題内容とねらい、採点講評

2025 年度入試より選択が可能となった日本史では、4 大問での出題となっている。ひとつの大問での出題は 10 設問程度で、各 2～3 点の配点を中心。

学校推薦型選抜と一般選抜で出題範囲が異なる。

- ・学校推薦型選抜 日本史探究（幕末まで）
- ・一般選抜 日本史探究（全範囲）

● 学習上のアドバイス（参考）

日本史の学習においては、教科書の基本事項をしっかりと身につけることが出発点となる。単に人名・事件名を覚えるだけでなく、各事象がどのような時代的背景のもとで起こり、その後の歴史にどう影響したかを因果関係として理解するよう心がけてほしい。また、人物についてはその業績や関連する出来事を正確に対応させておくことが、正誤問題や「適切でないもの」を選ぶ設問で大きく得点に差がつくポイントになる。文化史については、作品・作者・時代・思想的背景をまとめて整理する学習が効果的である。地図・図版問題にも対応できるよう、遺跡や地名の位置についても資料集などで確認しておくことが望ましい。